

品目毎の農林水産物への影響について(総括表)

1. 品目毎の農林水産物の影響(合計40品目)

影響		品目例	対応方向等
1	特段の影響は見込み難い	小豆	• <u>更なる競争力の強化が必要。</u>
		茶	• <u>更なる競争力の強化が必要。</u>
		のり	• <u>更なる競争力の強化が必要。</u>
		ほか8品目	
2	影響は限定的と見込まれる	にんじん	• <u>長期的には、国産にんじんの価格の下落も懸念されることから、生産性向上等の体質強化対策の検討が必要。</u>
		鶏肉	• <u>長期的には、国産鶏肉の価格の下落も懸念されることから、生産性向上等の体質強化対策の検討が必要。</u>
		合板等	• <u>長期的には、国産材の価格の下落も懸念されることから、生産性向上等の体質強化対策の検討が必要。</u>
		あじ	• <u>長期的には、国産価格の下落も懸念されることから、生産性向上等の体質強化対策の検討が必要。</u>
		ほか18品目	
3	国家貿易以外の輸入の増大は見込み難い	米	• <u>国別枠により輸入米の数量が拡大することで、国内の米の流通量がその分増加することとなれば、国産米全体の価格水準が下落することも懸念されることから、備蓄運営による外国産米の主食用米生産に対する影響の食い止めの検討や、更なる競争力の強化が必要。</u>
	内麦優先の国家貿易運用により輸入の増大は見込み難い	小麦	• <u>マークアップの削減に伴い、輸入麦の価格の下落が国産小麦の販売価格に影響を及ぼすことも懸念されることから、国内製品の安定供給が図られるための環境整備の検討や、更なる競争力の強化が必要。</u>
		大麦	• <u>マークアップの削減に伴い、輸入麦の価格の下落が国産大麦の販売価格に影響を及ぼすことも懸念されることから、国内製品の安定供給が図られるための環境整備の検討や、更なる競争力の強化が必要。</u>

影響		品目例	対応方向等
3	てん菜、さとうきびの生産に特段の影響は見込み難いが、加糖調製品の流入の懸念	砂糖	<ul style="list-style-type: none"> 安価な加糖調製品の流入により、糖価調整制度の安定運営に支障が生ずることも懸念されることから、<u>国内製品の安定供給が図られるための環境整備の検討や、更なる競争力の強化が必要。</u>
4	当面、輸入の急増は見込み難いが、長期的には、関税引下げの影響の懸念	牛肉	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には、米国・豪州等からの輸入牛肉と競合する乳用種を中心に国内産牛肉全体の価格の下落も懸念される。このため、<u>国内の肉用牛生産について、規模拡大等による生産コストの削減や品質向上など国産の優位性の確保等の体質強化対策に加え、経営の継続・発展のための環境整備を検討することが必要。</u>
		豚肉	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には、従量税の引下げに伴って、低価格部位の一部がコンビネーションによらず輸入される可能性が否定できず、国内産豚肉の価格の下落も懸念される。このため、<u>国内の養豚について、規模拡大等による生産コストの削減や品質向上など国産の優位性の確保等の体質強化対策に加え、経営の継続・発展のための環境整備を検討することが必要。</u>
		乳製品	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には、競合する国内産の脱脂粉乳・チーズの価格下落等が生じることにより、加工原料乳の乳価の下落も懸念される。このため、<u>国内の酪農について、規模拡大等による生産コストの削減や品質向上など国産の優位性の確保等の体質強化対策に加え、経営の継続・発展のための環境整備を検討することが必要。</u>

2. 日本産農林水産物・食品の輸出(重点品目:8品目)

影響		品目例	対応方向等
更なる輸出拡大が期待		重点品目 (水産物、加工食品、コメ・コメ加工品、林産物、花き、青果物、牛肉、茶)	<ul style="list-style-type: none"> 更なる輸出促進の取組を強化。 輸出環境課題(動植物検疫、放射性物質に係る輸入規制、食品安全基準等)の解決に向けた取組も必要。